

次回定例会のご案内

令和4年第4回定例会は、
12月1日（木）～9日（金）の
予定です。

一般質問は12月5日（月）、
6日（火）午前10時からです。
ぜひ傍聴にお越しください。

※傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。



町政を問う ～一般質問～

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問う
ものです。一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間
です。今定例会では9人が登壇しました。

広報誌に掲載する内容は質問者自身が要約し、広報広聴
特別委員が校正したものです。

一般質問の映像を配信して
おりますので、詳しくはそち
らをご覧ください。



一般質問

また、会議録もホームペ
ージでご覧いただけます。



会議録

問

「湯川・坂下」の道の駅のさ
らなる賑わいのため、コン
ビニ・ホテル誘致・レンタサイクル
開設・高速バス増便への取り組みの
考えと、賑わい維持・拡大のための
検討について。

答

オープン当時、コンビニ用
地を確保した経過がある。
ホテル誘致についても恵まれた立
地条件を活かし観光ビジネスの拠点
として有効であると考えます。

サイクリングロードの整備に合わ
せ、レンタサイクル事業の実証実験
を実施し、次年度からの本格導入に
向け取り組みを進めます。高速バス
は会津バスに要望していきます。

現在河川拡張工事が実施されてお
り、賑わいの維持・拡大に繋がるよう、
湯川村と協議を進めます。

これも質問

問 只見線乗りたくても乗れない列車
ダイヤでよいのか。



五十嵐一夫議員

道の駅賑わいのための提案

賑わいの創出は必要である

東松洞門の通行復活の取り組みを
現状の姿維持での通行可能は困難

問

新日本歩く道紀行推進機構
による、「歩いておきたい千
の道」に東松峠が選ばれており、来
訪者も多くあります。

地域の方々が開削した東松洞門は
通行が出来ません。町村境にあり西
会津町・県と協力し、県道ですの
で県事業として復活の取り組みを望
みます。



現在は通行できない
東松洞門

答

建設事務所では「洞門は落
盤などから、現状を維持し
た通行は困難。」と言われています。

町は地域の皆様とともに「歩く県
道」の整備に取り組み、洞門につい
て県・西会津町と協力し、維持保全
を模索します。



横山智代 議員

学校給食における「食育」について 伺う 第3次会津坂下町食育推進計画に 基づき行っております

問 学校給食に地産地消・有機農産物を取り入れることで教育的また、地域の農業の活性化にも効果があると思われるがどのような考えか伺う。



子どもたちが楽しみにしている学校給食

答 児童・生徒の発達段階に応じて、栄養教諭等が食育に関する授業を実施したり、地場産物や郷土食の提供等を行っております。地元生産者はもちろん、農産物の国際認証「グローバルGAP」を取得している会津農林高校からも食材を納入していただいております。
有機農産物は現段階では定量を確保するのは困難ですが、関係機関・関係部署と連携し今後、地場産・有機農産物を食材に取り入れるよう取り組んでまいります。

問 最近ごみの出し方が徹底されていないとの苦情が出ているが、どのように対応しているのか、また、ごみ袋の価格は下げられないのか。

答

毎年ごみカレンダーやごみ分別表を全戸配布し周知徹底を図っているところですが、一部で行き届いていない所が見受けられます。今後、行政区と連携し徹底を図るとともに、誰が見ても分かりやすく間違いがなくなるよう、ホームページや広報等を用いて周知していきたいと考えております。
外国人の方には英語版のごみの出し方チラシを関係会社・関係行政区に配布しました。関係会社等と定期的に打ち合わせをしており、連絡を密に取っております。
ごみの手数料は環境センター負担金や資源回収報償金・コンポスト等の購入補助金に充てておりますので、現時点ではごみ袋の引き下げは行わないと考えております。



蓮沼文明 議員

印鑑での出勤簿からの脱却を 町DX推進計画で検討して参ります

問 町職員の印鑑での出勤簿は職員IDカードで勤怠管理を可視化すべきではないか。

答

町職員の勤怠管理のシステム化については、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画策定により進めておりますが、今後、デジタル化した正確な労働時間の可視化実現は、行政の働き方改革及び職員の健康管理の徹底並びに意識改革・業務改善等にもつながる重要な手段でもありますので、現在、役場内のパソコンやコピー機と同様に職員証（IDカード）による管理システムの整備を検討して参ります。



勤怠管理もIDカードで

町長公約の健康づくり事業の進捗はレンタサイクル周遊コース設置も検討して参ります。

問

町長公約の一つである健康づくり事業の進捗を問う。

答

ウォーキング・サイクリングコース構想では、ウォーキングコースを旧宮川沿いのトリムコース及び、先般「バス停」近辺に休憩用ベンチを設置した町道坂下南幹線の活用を想定。サイクリングロードについては、一般県道会津若松熱塩温泉自転車道線の活用を想定。また、「道の駅あいづ」を起点にJR会津坂下駅まで、レンタサイクルによる周遊コースの設置も現在検討しております。

これも質問

問 グラウンドゴルフ場・パークゴルフ場構想について伺う。

問 行政事務の効率化推進事業における具体的な中身を問う。

問 「バイオマス発電所」の建設状況について伺う。



佐藤宗太 議員

役場新庁舎の建設場所について、今後の見通しは
建設場所については、12月頃までに結論を出したいと考えております

問

古川町長は、新庁舎建設場所について建設場所の見直しを公約で謳っていた経緯がある。令和4年6月議会では「会津坂下町役場新庁舎の建設場所について様々な現状を加味し再度協議することを求める請願」が採択されたことを受けて、今後の見通しはどのようなものか。

答

今後の事業計画については、現候補地を含め、建設場所についても再考することとし、最終的には町が総合的に判断してまいりたいと考えております。

これも質問

問 学力向上の取り組みとその成果は。
問 子育て日本一を目指した「一つの学園構想」の現状とその成果は。
問 カーボンニュートラルの取り組みの現状と今後の見通しは。



営業を終えた糸桜里の湯ばんげ

問

清算処理に入っている糸桜里の湯の今後の見通しは。

答

個別には、何件かご提案をいただいておりますが、町民の大切な財産であることから、本年中に募集要項を定め、あらゆる活用方法を広く募集するなど、公平性・透明性を確保しながら、活用の手続きを進めてまいります。

問

町の街灯と夜間における防犯対策の現状を問う。

答

街灯は、夜間における町民の安全及び犯罪被害の未然防止、交通の安全と円滑化を目的として設置しています。また地区要望や通学路点検で指摘のあった箇所、新たに町道認定した箇所など現地調査の上、その必要性を判断し新規の街灯を設置しています。今後につきましても町民の不安払拭のため、夜間の安心安全に取り組んで参ります。



歩行者が見えにくい南幹線の足元を照らす歩道専用の街灯



目黒克博 議員

当町の防犯対策について
町民の安全・安心確保に取り組みます

当町消防団の問題点について

さらに活動しやすい環境を整えてまいります

問

スムーズな消防団活動を展開するにはマニュアルの作成が必要ではないのか。

答

災害時出動時の無線の管理運用や出動範囲を含め、事業計画や福利厚生の説明はしているが、行動・資機材の取り扱いや安全管理に関してのマニュアルはなく、ポンプ等の機材の操作技術不足・安全管理に対する意識の低下が懸念されるため、訓練の充実に併せマニュアルの作成と活用について検討してまいります。

これも質問

問 J R只見線全線再開通にあたり、当町のアピール作戦を問う。



現在の防災マップ

問

気候危機と言われる近年は、経験したことがないような災害が全国で起きている。防災マップに基づいた防災体制の構築はどのように進められているのか。

答

気候変動の影響から災害が頻発化・激甚化しているため、国で示す指針に基づき、防災マップを今年度中に改訂し、全世帯に配布します。内容は千年に一度の浸水を想定し、消防士・防災士の意見をいたたき、作成します。



小畑博司 議員

**防災マップに基づいた防災体制の構築はどのように進んでいるか
消防士・防災士会のご意見をいただき作成します**

『コロナ対策は町民に安心を提供しているか』

わかりやすい対策の発信と実行に努めます

問

入院できる人は限られ、宿泊施設での療養も困難。自宅療養ばかりを強要されているのが現状ではないか。各自が注意しているものもいくつかあるかわからない状況のなか、発熱外来に電話しても簡単には繋がらない。町民のみなさんの不安がつのるばかりではないのか。

答

検査・診療医療機関の現場にはひつ迫しています。すぐに受診できないで不安を感じておられる方々から直接に電話をいただき、保健師を中心に電話や訪問するなどの対応をしております。今後も町民の皆さんの大切な命と健康を守り、安心できるよう、わかり易い対策の発信と実行に努めます。

これも質問

問 農業の担い手の確保は進んでいるか。



渡部正司 議員

**新庁舎建設用地は
現候補地を含め再考し12月頃まで結論を出したい**

問

『あれほど金が無いと言ってきたのに建設して本当に大丈夫か。庁舎を建てる金があったら、各行政区からの要望に使うべき。』との声にどう応えるか。

答

財政健全化に取り組んできた結果、健全化判断指標が改善し、建設費用を含む今後十年間の収支が黒字化する見通しとなりました。各行政区からの要望に対応することは、庁舎建設にかかわらず、安心して暮らせる地域社会の実現のために重要です。生活を守るための重要性を考慮し、確実に対応をしてまいります。



古くなった役場庁舎

問

建設ビジョンはどのようなものか。

答

多くの町民の意見を反映させるよう、検討委員会だけでなく、各種団体や各地区でのまちづくり懇談会、町民アンケートにて意見を集約し、町民のための、町民が望む庁舎を建設し、持続可能なまちを実現したい。

問

幅広い声を聞く必要があるが検討委員会の構成は。

答

坂下地区の方に偏っているとの意見から、新たに各地区より6名と、若者の意見を取り入れるべきことから一般公募で青年代表3名を追加することとしました。

問

透明性などから議事録の公開は必須ではないか。

答

議論の透明性確保の観点からも必要で、個人情報保護を護し、町ホームページ等にて公開していきたい。



物江政博 議員

公務員の兼業実施を問う

地域産業の活動を支援します

問 町産業の向上と発展の為、職員の副業を認められるか。

答 公務員の兼業については、地方公務員法第三十八条において「任命権者の許可を受けなければならない」と規定されており、人手不足が深刻化する農業分野等において、職員の兼業によって地域産業の活動を支援する自治体の例が見られるなど、公務員の兼業への期待はますます大きくなっていくものと認識しています。本業に支障をきたさない、報酬が社会通念上相当と認められる範囲を超えないなどの規則を定め業種等を問わず許可します。



人手不足を補う為の施策を

問 移住定住促進事業の今後の見通しは如何か。

答 全国的に人口減少社会に突入し、国としても対策が求められています。

当町では本年度から本庁舎入り口に「移住定住相談窓口」の看板を掲げ、過疎化対策を最重点事業と位置づけ移住定住推進班を設置し、特に空家バンクや住宅取得支援補助金を活用した定住人口対策、町の魅力発見ツアーの実施やSNSを有効に活用した情報発信など交流人口対策に積極的に取り組んでいます。

会津西部の「経済・子育て・医療・の中心」として「住み続けたい」「移住したい」と思うような魅力あるまちづくりを展開し、人口減少に歯止めをかけてまいります。



酒井育子 議員

新庁舎建設について伺う

町民より幅広く意見をお聴きします

問 前齋藤町長は、一回着工しますという計画を立てて設置場所も議会の決議を頂いており後戻りすることは無いという担保を残されて退任しました。就任1年3か月の今、建設用地の再考へと変わられたことは何か見解を伺います。

答 社会情勢及び周辺地域等の変化を踏まえて議会の意見書を町民の声として尊重すべきであると考え、現候補地も含めて建設場所について再考していきたいと考えます。

問 3年12月定例会の中の町長答弁に、「1回決議を賜わっていると言うことは、これほど重いものは有りません。その決議を賜わった経過の中には行政側提案して議決を賜わっていますので、町長が変わったからと言って、私から白紙にして、もう一度議決をお願いしますとは絶対に言えません。議会の皆さんの方から将来に向けて考えろと言われれば再度、再考しなければならぬだろうという、思いの中で私も今まで来ましたが」とありました。この度の請願書の提出を、どの



建て替えを待つ現庁舎

これも質問

問 景観条例の設置について。

ように受け止めて良いやら戸惑いを感じております。率直な感想をお聞かせください。

答 確かに申し上げた記憶がございませぬ。

真摯に受け止め、この9月15日より、各コミセンに於いて幅広い意見をお聞きして、12月頃まで総合的に判断し結論を出したいと考えております。